



KIZUNA vol.29

contents

- ② オンライン交流会開催
- ② 役員挨拶
- ② 2021年度～2020年度奨学生
- ③ 2020年度～2017年度奨学生
- ④ 奨学生OB・OGから
- ④ OBの新刊書

奨学生の皆さまへ



戸田建設
イノベーション戦略部次長
戸田育英財団評議員

羽田 正沖

新型コロナウイルス感染症の感染が日本で確認されて2年以上が経ちました。

その影響は戸田育英財団の活動にも出ており、例えば、2021年度の交流会は初めてオンラインでの開催となりました。制約は受けつつも、奨学生の皆さんの元気な声と頑張りが伝わってきました。

半強制的な制約は皆さんの学業や生活にも影響を与えていると思います。企業活動や業績にも様々な形で影響が出ています。事業活動が思うようにできない企業もある一方で、この時代に必要とされて業績を伸ばしている企業もあります。

140年の歴史を持つ戸田建設では、伝統的な建築・土木の事業は継承しつつ、その手法を進化させる開発や、多様化する社会ニーズに応えるべく事業領域を広げる取り組みもしています。私はベンチャー企業との新しい事業開発に携わっており、その経営者と接する機会が多々あります。彼らの多くは、自らの経験した社会的な課題に対して、それを解決できる事業構想の実現に熱意を持って取り組んでいます。

当たり前だったことが思うようにできない難しい時代ですが、その分、皆さんも多くの困難や社会的な課題に接する機会も多いと思います。これからの時代を作る皆さんが望まれる働き方や暮らし方はまだ変化する可能性を秘めています。育つ環境や経験が皆さんの考えや活動の基盤になるとと思いますので、価値観の変化を前向きにとらえて活用していける柔軟性と適応力を養っていただければと思います。



理事長 戸田 博子

皆さまはもう対面の授業がだいぶ増えてきていて、ホットされていることと思いますけれども、来年以降の学生生活や授業などに大変不安を抱えておられることと思います。その辺りのことですか将来のことなど何でも結構ですので、お話しを頂けたらと思います。

副理事長 岡 敏朗



昨年の交流会は中止でしたので、2021年はご要望もありオンライン交流会を実現することが出来ました。皆さんとのやり取りをする場合、個人情報に配慮して流出しないように対応していきたいと思います。交流会は各々採用年度毎の3部構成になりました。4月には新奨学生の募集を開始の予定です。皆さんには「現況報告書・成績証明書」の提出をお願いいたします。



戸田建設 人事統括部長 大井 清司

皆さんのどのようなお話しが聞けるか大変楽しみにしてきたところです。皆さんは各個人の目標に向かって、毎日ひたむきに努力しているというのが伝わってきました。

戸田建設は建設・土木はもちろんカーボンニュートラルに向けた新事業、環境ビジネスに取り組んでいます。五島列島の洋上風力発電事業はすでにスタートし、SDGsやESG経営に向けた取り組みも始めています。

(2021年度)

青山学院大学 文学部 英米文学科

私が書いた論文が自分の大学の会報に載ったことです。自分が書いたエッセイが認められて、すごく嬉しかったです。ちょっと苦労したことといいますが、今年自分が専門にしたい学問が決まってアメリカ南部のゴシック文学ですが、手伝ってくれる教授を探すのに少し苦労しましたがゼミも決まって順調に進んでいます。

慶應義塾大学 商学部

私は、国際的な会計士になりたいと思っています。日本の海外への直接投資が非常に低いので、それをどうにかしたい、国際化に貢献したいグローバルで働きたいという目標が国際会計士なのでそれを目指します。簿記2級は取得したのですが、英語が伸び悩んでいます。

これからも英語そして会計学を専門に、より最前線で戦えるような会計の専門性を手に入れたいと思っています。

東京大学 文科二類

地方創生に興味があって、経済学的なアプローチで自分が何か役に立てることができたらなというふうにそれが目標です。自分の興味のある地方創生・経済学がまだ概論的な部分なのでやりたいことだけに集中することができないのは残念です。サークル活動でフェアウィンドという団体に所属して、オンラインセミナーで地方からどうやって東大を目指すか、都会の高校生との格差を埋めるかなどの活動に力を入れています。これからもっと頑張っていきたいです。

高知工科大学 システム工学群

私はNASAで働きたいと思っています。大学ではラスクというロケットとカンサットを創るサークルに所属し、2年生が打ち上げるロケットに向けて実験をしていきました。自作エンジンの破壊実験や機体の燃焼実験などを行いました。1年生が主体のロケット開発の構造班で縦開放を搭載したロケットにチャレンジしています。2022年7月に発射されるMOMOロケットの企画に応募し、実験に参加しましたが最終選考ではじかれました。NASAに行くためにTOEFLの勉強をし、試験を受ける予定です。

(2020年度)

北海道大学 工学部 情報エレクトロニクス学科

生命現象を理解する技術を学んでいます。顕微鏡の開発を目標とする研究室に配属され、機械学習と合わせた生体試料の観察に興味を魅かれています。基本的に物理学と生物学の領域を対象に研究しているので、遺伝子といったところも興味の一つです。英語の論文を読むことになりまして英語力の乏しさに落胆する日々ですが、英語に慣れていきたいです。

芝浦工業大学 システム理工学部 電子情報システム学科

インターネットを中心とした情報ネットワーク技術の基礎研究のゼミに参加しています。携帯電話に利用されている無線LANやBluetoothなどの無線通信において良い制御方法がないかの研究をしています。将来的にはより現行の手法を拡張した研究を卒論で発表したいと思っています。Wi-Fiを含めより良い方法はないか今、模索している最中です。

創成化学コースに配属され、今後の研究の方向性が定まってきたところです。新たな物質、材料の開発を目的とした勉強に励んでいます。3回生からは実験を通じて実際の工学に近い内容を学びます。学外の活動ではサークルにも所属している茶道です。大徳寺で月2回お茶を頂いております。お茶は空間に身を置くことで場を清め、道具を清めていくうちに、自分の心を整えてくれるようなところを感じております。

九州工業大学 工学部 宇宙システム工学科 機械宇宙システムコース

航空宇宙工学を専攻しており、機械工学やロケットや人工衛星の軌道、飛行力学、システムについて勉強をしています。33人中、女子3人という比率で頑張っています。ロケットのエンジニアの夢があり、NASAの日本地方大会で2年連続優勝し、NASAのグローバル審査に進出しました。ルビーというプログラミング言語の大会で優勝して大学の学長賞を受賞しました。語学では、英語をはじめ韓国語、中国語の資格を取得しました。部活はアマチュア無線に所属して、無線の国家資格も取得しました。福岡県の事業でバンコクとの国際交流事業では、日英通訳を担当しております。

(2019年度～2017年度)

聖マリアンナ医科大学 医学部 医学科

今は、国家試験に向けて勉強の方に励んでいます。今後は聖マリアンナ医科大学の付属の大学病院で臨床医として働きたいと思っています。志望科は実習を通じて患者さんと触れ合い、医者として診療できる科はと考えた時総合診療内科が浮かんできました。いろいろな科を回り、知識を付けて、総合的に患者さんの全人的な医療をできるような医者になりたいと思っています。

東京音楽大学 音楽学部 音楽学科 器楽専攻 (ピアノ演奏家コース・エクセレンス)

「第10回フランツ・リスト国際ピアノコンクール」がドイツのヴァイマルとバイロイトで開催されて1位なしの第2位(最高位)の受賞と聴衆賞・サン＝サーンス最優秀演奏賞を受賞しました。ハンガリー・ブダペストにあるリスト音楽院に交換留学とか海外で活動することも視野に検討しています。最終的にはピアニストを目指し、まっしぐらに進んでいきたいと思っています。

東京農業大学 生命科学部 分子生命化学科

有機合成の研究室でアリの女王フェロモンの全合成を目指しております。他大学との共同研究でアリの社会政治機構の解明に貢献できればと考えております。嬉しかったこととしては、大学が130周年を迎えるにあたり学部代表としてインタビューされたので、ホームページに載るかなと思うと少し嬉しい出来事でした。サークルも卒業公演に向けて「よさこいサークル」が再始動したので土日踊っています。

東洋大学 文学部 国際文化コミュニケーション学科 (2020年度)

初めての交流会で、すごく緊張していますが2021年の春に日本語教育の教育実習がありそれを修了し、ずっと日本語教育の勉強をしていましたが「日本語教育能力検定試験」に合格しました。このままいけば日本語教師の資格は満たしていますが、TOEICの試験が今日以外にもあるのでまだ勉強を継続していこうかなと思っています。

早稲田大学 創造理工学部 経営システム工学科

卒業論文で「ユーチューブにおけるショート動画投稿の影響に関する分析」と題して研究しています。統計学に関する研究室に所属し、コロナ禍でユーチューブの需要が上がってショート動画の機能が追加され、その効果について調べたいと思い選択しました。この先SNSのデータに関する研究を行いたいと考えています。大学院を卒業後はコンサル、IT企業等データ分析に関わる仕事に就きたいと考えています。

同志社大学 経済学部 経済学科

ゼミの活動が本格的に始まり、7月に「ビジネス・アイデア・コンテスト」が開催され私たちのチームが20チーム中3位に選ばれました。これは京都の歴史、京都の良さをオンラインを通して子供たちにどうしたら理解してもらえるかというアイデアを発表していく大会です。将来リーダーシップを発揮していけるようにコンサルティングの会社のサービスに入会しました。日々身に付けるために勉強しているところです。

奨学生OB・OGから

『バングラデシュでのプロジェクト』

早稲田大学 2016年 卒業



戸田育英財団事務局の皆様、奨学生の皆様、OBOGの皆様、元気にお過ごしでしょうか。私は今バングラデシュという国において、肥料プラントの建設にエンジニアとして携わっています。人口増加による将来的な食料自給率の低下に対応するためのプロジェクトです。

私はもともと建築が専門でしたが、そこで現在私が行っている仕事は「建築施工管理」、「英語通訳」、「プロジェクトマネジメント」、「プラント運用」を組み合わせたような、一つの言葉では表現できない業務です。

一方で大学入学当初からこの仕事に就きたいと思っていたわけではありませんでした。その理由は、単に今携わっている仕事を知らなかったからです。当時は「建築士」といった、簡単に言葉で表せる仕事しか自分の頭にありませんでした。一方で世の中には、名詞として存在しない仕事も数多く存在し、さらにこれからの時代は、まだこの世に言葉としても存在しない仕事も生まれてくると思います。そのような時代に、既存の職業の枠にとらわれずやりたいことを見つけるには、広い視野を持つ他ないと思います。僭越ながら現役の奨学生の皆様におかれましても、学生の内に自分の専門分野だけでなく、広く多様な学問に触れることを強くおすすめしたいです。皆様が将来自分の満足できる道を歩み、社会で活躍することをお祈りしております。

『戸田育英財団監事と公認会計士』

慶應義塾大学 2018年 卒業

2021年7月に監事に就任しました奨学生OGです。

私は2018年3月に慶應義塾大学を卒業後、有限責任監査法人にて会計監査業務に従事しております。学生のときから公認会計士を目指して勉学に励み、夢見ていた仕事に就くことができました。

学生の皆様にとって公認会計士の仕事はあまり馴染みのないものかもしれませんが、会計・監査の専門家として、上場企業の監査をはじめ産業・環境・教育・福祉・まちづくりなどの広い分野において経営や財務に関する活動を職務としております。スタートアップ支援、地方自治体のガバナンス強化等、その活動は多岐にわたります。

約2年に及ぶコロナ禍は社会活動や経済活動に大きな打撃を与え、私も外部から会社を見る立場として、関与する会社が大きく変化していく姿を見てきました。テレワークの促進、副業・兼業の容認、人々の行動の変化による企業のビジネスの在り方は大きな変革の中にいます。急速な変化の中では答えは教科書に載っていません。

皆様におかれましても学んできた知識・経験を活用するだけでなく、自分で考える力を養って各分野で社会課題の解決にチャレンジしてください。

OBの新刊書

『シロヤナギは海が見たい』 ikaru_sakae/著

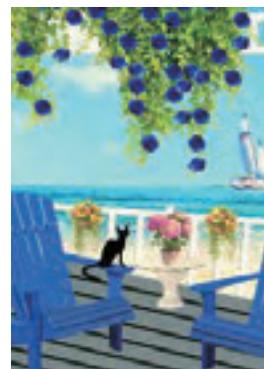
岸田 栄 筑波大学 1996年 卒業 (メキシコ在住 作家)

こちらは最近、ノベルコンペのエントリー用に書いた新作のひとつです。コロナ禍の状況と、むかしの名作「スタンド・バイ・ミー」をミックスしたようなお話で、海を見るために高校生の男女がひたすら線路を歩く。まあ、それだけのシンプルな話を自分流・近未来バージョンとして書いてみました。

交流会は、リアルでやるのとオンラインとで、やはりそこから育っていく人間関係の質にも差がでるでしょうから来年はリアルな交流会が実現すると良いですね!学生たちにも、はやく通常のリアルな大学の日常に戻ることを祈っています。

さて、こちらメキシコの方は日常生活の上では、都市部の施設を利用すると今でも各種の規制をやっているの「ああ、そういえば、そういうのもあったな。」と思い出してマスクを着用する感じでしょうか。そしてその都市部の規制も、管理者側の危機感も希薄で、惰性でずるずる、州政府がやれと言うからまだやっています…という雰囲気ですね~

今は、おもに翻訳で生計をたてつつ、小説をせっせと書いてはオンラインで発表したり、コンペに参加して賞金獲得を狙う…という感じの生活です。



寄付報告(ご芳志に深く感謝申し上げます。)

匿名希望2021.11.29 [金10,000円]

令和3年度の第3回理事会が(書面決議で)開催されました。

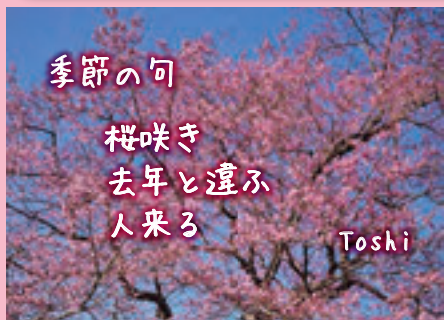
- 第1号議案 令和4年度事業計画について
- 第2号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
- 第3号議案 令和4年度収支予算書
- 第4号議案 資金運用規定改定の件

事務局だより

12月の交流会では奨学生の皆様が多くのごことに取り組まれていることを知ることで私自身も大変よい刺激を受けることができました。

私はこれまで環境の変化を好むタイプではないと思っていましたが、新しい体験をしたいと思い、近所の陶芸教室へ行って4時間かけて植木鉢サイズのマグカップをこねました。どれもきれいな色であるにもかかわらず聞いたことのない色が大半でした。身近な場所であっても知らないことは多く、まだ学べることはたくさんあると嬉しくなりました。

皆様も身近なことにも興味を持ち、家族・友人など自分を支えてくれる方々や自分自身を大切にお過ごしいただければ幸いです。



季節の句

桜咲き
去年と違ふ
人来る

Toshi